

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年3月13日）

1 主な報告等

(1) メンタルヘルスセミナー（セルフケア）の開催結果について

委員から、メンタルヘルスセミナーの開催は、職員の健康管理の一環として、適正飲酒に関する正しい知識と自己管理の方法について学ぶ良い機会となった。メンタルヘルスは、ストレスを溜めないことが重要である。ストレスを抱える職員が、上司や同僚に相談しやすい職場環境づくりに配慮していただきたい旨の発言があった。

(2) 令和6年度総合監察の実施結果について

委員から、県警察が行う監察の取組や考え方について説明を受けてよく分かった。各種監察における指摘・指導事項については、その背景はどのようになっているのか真因を探り、見直し・改善につなげ、業務上の非違事案未然防止に努めていただきたい旨の発言があった。

(3) 令和6年中における児童虐待事案の概況及び各種取組について

委員から、児童虐待事案の概況について説明を受け、県民等の児童虐待への認識・理解が高まっていると感じた。今後も警察・児童相談所・教育機関等との連携を深めて、総合力により児童を守っていただきたい旨の発言があった。

(4) 指定暴力団旭琉會の代表者変更について

委員から、指定暴力団旭琉會の組織体制等について説明を受けよく分かった。今後も引き続き、暴力団が関与する事件を徹底的に検挙して、組織の弱体化に向けて取り組んでいただきたい。また、「匿名・流動型犯罪グループ」等との関係性や実態の把握に努めていただきたい旨の発言があった。

(5) 「産学官連携による交通事故抑止対策感謝状贈呈式」の開催について

委員から、昨年からの交通事故抑止対策の経過について報告を受けていたが、プローブデータを活用した事故要因の分析結果に基づき、道路管理者と連携したインフラ対策等が行われるなど、交通事故抑止対策に効果的な取組がなされていることを評価する。産学官連携による交通事故抑止対策を継続していき、このような取組が全国に広がることを期待する旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、産学官連携による交通事故抑止対策については、レンタカー会社、自動車損害保険会社、学術機関等、年々協力の輪が広がり、全国的にも評価される取組へと発展してきたものであり、今後、この取組をさらに充実・発展させてまいりたい。また、この取組を参考とし、交通部門のみならず他部門においても関係機関との連携による取組を充実できないか検討してまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について（2件）
- ・ 沖縄県公安委員会公印規程の制定について
- ・ 公安委員会関係報告（2件）
- ・ 令和6年中の被疑者取調べ監督の実施状況について
- ・ 特定秘密の保護措置の実施状況及び適正評価の実施状況について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について
- ・ 犯罪被害遺族給付金支給裁定について

(2) 生活安全部

- ・ 風俗営業者に対する営業停止命令書の交付について
- ・ 警備業関係の指示処分について

(3) 刑事部

- ・ 逮捕状を請求できる司法警察員の指定について
- ・ 解剖の実施機関に関する県公安委員会の承認について
- ・ 指定暴力団旭琉會に係る意見聴取の開催について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

(4) 交通部

- ・ 「沖縄県公安委員会関係規則の整理に関する規則」の制定について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 更新時講習の実施等に関する規則の一部改正について
- ・ 道路交通法施行細則の一部改正について
- ・ 認知機能検査員講習の実施等に関する規則等の一部改正について